

# 予防接種

毒性を弱めたり、不活性化した病原体などを前もって体内に投与しておくことにより、その病気にかかりにくくしたり、かかった時の症状を軽くすることを予防接種といい、投与するものをワクチンといいます。



予防接種は  
お早めに!

# 予防接種の秋がやってきた!

～秋になって涼しくなったと感じたら、予防接種を受けるタイミング～

岡山県では新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、10月1日から12月31日まで以下のワクチン接種支援事業が実施されます。(※実施の有無については各医療機関にご確認ください)

1. 県内在住で生後6か月～小学校6年生の小児はインフルエンザワクチン予防接種時の窓口負担が無料となります。
2. 県内在住で定期接種対象年齢以外かつ、令和2年度に66歳以上のこれまでに肺炎球菌ワクチン接種を受けていない方は、定期接種の方と同じ自己負担金で接種できます。

## ● インフルエンザワクチン

インフルエンザウイルスは毎年変異しながら流行します。ワクチンは毎年そのシーズンの流行を予測したものが生産され、接種することでインフルエンザの重症化や合併症を減らすことができます。インフルエンザの流行は12月～3月頃です。毎年10月頃から接種が開始されますので、流行前までに接種を終了させましょう!

(※成人のインフルエンザの予防接種は原則1回接種です)

公費適用期間 令和2年10月1日～令和3年1月30日

※掲載している公費は全て総社市の料金です。

また、自費料金は全てあさのクリニックの料金です。(料金は税込表示)

公費	65歳～69歳	2,250円
	70歳以上	1,200円
自費	1回目	3,850円
	2回目	2,750円

予防接種の大切な目的として下の3つがあげられます。うがいや手洗いなど予防活動を万全にして、感染に備えましょう。

## 予防接種の大切な3つの目的

- 1 自分がかからないために
- 2 もしかかっても症状を軽くするために
- 3 家族やまわりの人にうつさないために

## ● 高齢者の肺炎球菌ワクチン

肺炎は日本人の死因第3位です。65歳以上に多い感染症で肺炎球菌によるものが最も多いです。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し重症化を防ぐワクチンです。接種してから免疫(抗体)ができるまで、約3週間かかり、効果は5年以上持続するといわれています。

(※肺炎球菌ワクチンは全ての肺炎を予防するワクチンではありません)

公費適用期間 令和2年7月1日～令和3年3月31日

※掲載している公費(今までワクチンを接種していない方)は全て総社市の料金です。また、自費料金はすべてあさのクリニックの料金です。(料金は税込表示)

公費	65歳・70歳・75歳 80歳・85歳・90歳 95歳・100歳の方	3,600円
	—	8,800円

※どちらのワクチンも、公費接種対象の方で市民税非課税世帯の方や生活保護受給者の方は、減免・免除の制度があります。また、肺炎球菌ワクチンは、60歳～64歳の方でも病気や障害により対象になる方もいます。ご自身が対象かどうかは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

## 院長のコラム COLUMN

### 「コロナ禍の予防接種」

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の症状は似ているため、発熱、咳などの呼吸器症状があると、風邪やインフルエンザだったとしても新型コロナ感染を疑うようになってしまいます。その為今年はいよいよ一層のインフルエンザ感染対策を徹底し、コロナ禍のインフルエンザ対策として、今までと同様にインフルエンザワクチン接種と手洗い、咳エチケット、3密回避、マスク着用を加え、新しい生活様式でこの冬を乗り越えていきましょう。